

午後 I 試験

問 1

問 1 では、パブリッククラウドサービスを利用したシステムの監査について出題した。

設問 1 は、(1)において“M 社の資産保全”の観点、(2)において“競合する CSP”の観点に欠けた解答が多かった。また、“CSP の事業撤退、倒産などによるサービス停止を想定した検討”と“M 社が SaaS 利用開始後に定期的に確認すべき事項”との間の整合がとれていない解答も多かった。問題文のどの記述に基づいた解答を求められているのか、設問の意図をよく理解してほしい。

設問 3 は、(1)において“監査人が稼働率の評価結果の妥当性に関して懸念をもった理由”を解答として求めたが、“稼働率の算出項目及び稼働率算出の対象期間が各 CSP で異なっていた”という問題文の記述をそのまま引用した解答が散見された。監査人には、結果として生じうるリスクを識別する能力が要求されるので、表面上の現象だけで判断するのではなく、根底にある問題点を探る姿勢を身につけてほしい。

設問 4 は、問題文で“B 社について”と範囲を限定し、さらに“B 社の SaaS を利用することによる総合的なコストメリット”を考慮に入れて検討するときの比較対象を問うた。しかし、選定の候補となった他の CSP の評価項目との比較について述べた解答が多かった。

問 2

問 2 では、業務改革を伴う新システムの導入後の監査について出題した。

設問 1 の(1)は、移行元の旧債権データと新システムの債権データの違いに着目すれば解答できる問題であり、正答率は高かった。また、設問 1 の(2)は、請求データを新システムの財務会計モジュールの債権データとする場合の考慮事項を理解できれば、解答できる問題である。

設問 2 は、債権データの詳細な消込作業の役割・責任が各営業部から債権管理課に移管されたことによって、作業のための要員検討や手続・手順の構築が必要となることが理解できれば、解答できる問題である。しかし、入手すべき基礎情報や概括的な手順書などの解答が散見され、正答率は低かった。

設問 3 の(1)及び(2)は、債権データの修正に関する正当性の問題であり、債権データの修正に関して、正当性を脅かすリスクが理解できれば、解答できる問題である。しかし、証跡の維持や正確性・網羅性に関する解答が散見された。

問 3

問 3 では、システム障害の再発防止の監査について出題した。一般的な障害管理に関する問題であり、設問の難易度もそれほど高くないと思われるが、記述に具体性がなかったり、設問で求めていることの意味を十分に理解できていなかったりする解答が多くみられた。また、設問によって正答率が分かれた。設問 1 及び設問 2 の(1)はシステム障害報告書の意味が理解できていれば、問題文をヒントに正答を推定できることから、非常に正答率が高かった。一方、設問 3 及び設問 4 は問題文に即した深い分析が必要となることもあって、正答率が低かった。

設問 2 の(2)では、表 1 に記載されているケースについての記述を求めているにもかかわらず、一般的な記述に終始している解答が多かった。問題文をよく読んで具体的に記述してほしい。

設問 3 では、障害の根本原因を調査するための手続について記述することを求めたが、障害管理における“根本原因”という用語を理解していない解答も散見された。障害管理における“根本原因”の重要性を理解してほしい。

問 4

問 4 では、システムの本番移行段階において考慮すべきリスク及びコントロールを踏まえたシステム監査について出題した。

設問 2 は、移行用プログラムの修正によってデグレードが発生したり、それによって、本番のデータ移行やその後の新システムに影響を与えたりする可能性があるというリスクを問うた。正答率はおおむね高かったが、単に問題点だけを記述した解答も散見された。問題文に記述されている事実（問題点）によって、どのような帰結が想定されるかということがリスクの認識であることを理解してほしい。監査手続については、監査ポイントは的確に記述している解答が多かったが、監査技法や監査証拠までをきちんと記述した解答が少なかった。

設問 3 は、本番でのデータ移行後の限られた時間の中で移行処理の結果を確認するためのコントロールについて問うたが、手順の事前確認やテスト結果の確認など、問題の趣旨に沿わない解答が多く見られた。

設問 4 は、移行作業中に予期せぬトラブルが発生した場合に迅速に対応するためにあらかじめ準備しておくべきコントロールについて出題した。正答率は高かったが、“コンティンジェンスプラン”や“対応手順”といった一般的な記述にとどまる解答も多かった。継続するか中止するか判断基準やタイムリミットの明記が必要なコントロールであることを理解してほしい。